

広 資 料 第 1 4 3 号
令 和 5 年 1 1 月 3 0 日
企 画 財 政 部 企 画 政 策 課
市 民 情 報 提 供 資 料

米軍オスプレイの墜落について

令和5年11月29日付広資料第140号、同月30日付広資料第141号及び142号でお知らせしたこのことについて、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は、別紙1及び別紙2のとおり文書で申し入れましたので、お知らせします。

鹿児島県屋久島沖合での横田基地所属 CV-22 オスプレイの墜落について（要請）

令和5年11月29日に鹿児島県屋久島（やくしま）の沖合において、米空軍横田基地所属のCV-22 オスプレイ1機が墜落したとの情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供された。

この事故でお亡くなりになった方のご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、御遺族並びに関係者の皆様に対し哀悼の意を表す。また、残る搭乗員の方々については、無事に家族の元へ戻ることを祈念する。

さて、オスプレイについては、今般の事故以外も本年8月にオーストラリアでMV-22の墜落事故が発生し、また、9月にはわずか2週間足らずの間に、4回、計6機のMV-22が予防着陸を繰り返すなど、基地周辺住民にあっては、オスプレイの安全性に対する不安を更に募らせている。

ついては、度重なる事故の発生に対して嚴重に抗議するとともに、貴職においては、下記のとおり対応するよう要請する。

記

- 1 CV-22 オスプレイについて、安全性が確認されるまで、飛行停止措置を講ずること。
- 2 当該事故の経緯を明らかにするとともに、原因究明を行い再発防止を図ること。
- 3 航空機の点検整備を強化するとともに、安全確保の徹底を図ること。
- 4 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

令和5年11月30日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

アンドリュー L. ラダン大佐 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	羽 村 市長	橋 本	弘 山
	立 川 市長	酒 井	大 史
	昭 島 市長	白 井	伸 介
	福 生 市長	加 藤	育 男
	武蔵村山市長	山 崎	泰 大
	瑞 穂 町 長	杉 浦	裕 之

鹿児島県屋久島沖合での横田基地所属 CV-22 オスプレイの墜落について（要請）

令和5年11月29日に鹿児島県屋久島（やくしま）の沖合において、米空軍横田基地所属のCV-22 オスプレイ1機が墜落したとの情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供された。

この事故でお亡くなりになった方のご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、御遺族並びに関係者の皆様に対し哀悼の意を表する。また、残る搭乗員の方々については、無事に家族の元へ戻ることを祈念する。

さて、オスプレイについては、今般の事故以外にも本年8月にオーストラリアでMV-22の墜落事故が発生し、また、9月にはわずか2週間足らずの間に、4回、計6機のMV-22が予防着陸を繰り返すなど、基地周辺住民にあっては、オスプレイの安全性に対する不安を更に募らせている。

また、9月22日には東京都からオスプレイの運用における安全確保の徹底について要請を実施したところであるが、こうしたなか事故が発生したことや、墜落が発生した同日中に、米側へオスプレイの飛行停止措置を求めなかったことについては、極めて遺憾である。

ついでには、度重なる事故の発生に対して厳重に抗議するとともに、貴職においては、このような状況を十分認識され、次のとおり米軍に申し入れを行うよう要請する。

記

- 1 CV-22 オスプレイについて、安全性が確認されるまで、飛行停止措置を講ずること。
- 2 当該事故の経緯を明らかにするとともに、原因究明を行い再発防止を図ること。
- 3 航空機の点検整備を強化するとともに、安全確保の徹底を図ること。
- 4 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。
- 5 オスプレイに対する基地周辺住民の不安に対し、国の責任において丁寧な説明を行うこと。

令和5年11月30日

防衛大臣 木原 稔 殿
北関東防衛局長 二又 知彦 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東 京 都 知 事	小 池	百 合 子
副 会 長	羽 村 市 長	橋 本	弘 山
	立 川 市 長	酒 井	大 史
	昭 島 市 長	白 井	伸 介
	福 生 市 長	加 藤	育 男
	武 蔵 村 山 市 長	山 崎	泰 大
	瑞 穂 町 長	杉 浦	裕 之